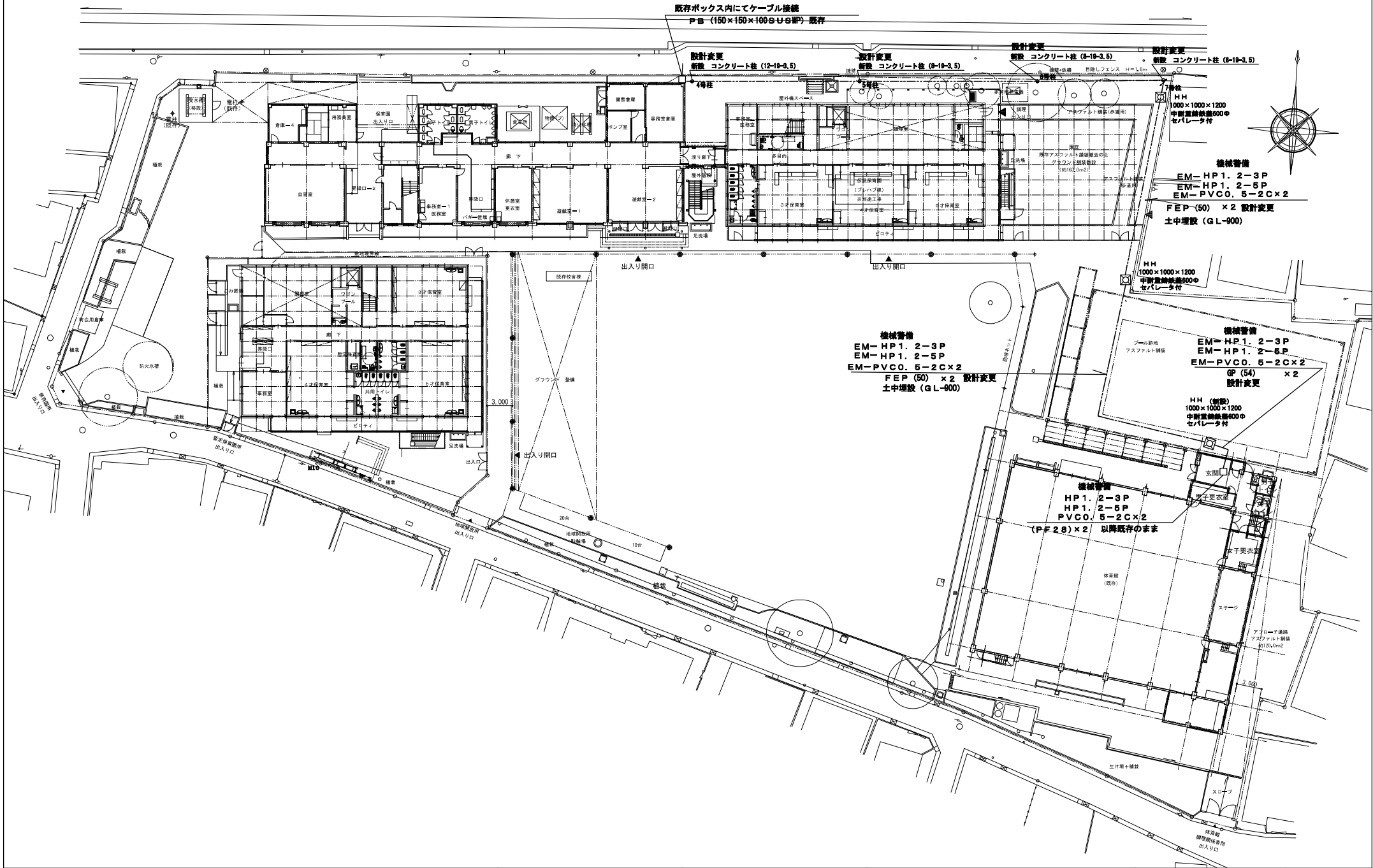




別紙6-2 北東側配線図 (弱電)



訂正	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○
	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○
	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○
	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○



品川区企画部施設整備課

工事件名	品川区企画部施設整備課
図面名称	構内通信線路 改修図

縮尺 (A1原寸)	1/200	建物コード	50201171A	図面番号	E-05
	A3 (1/400)	製図年月日	2018/10/6		

## ガス関係連絡先

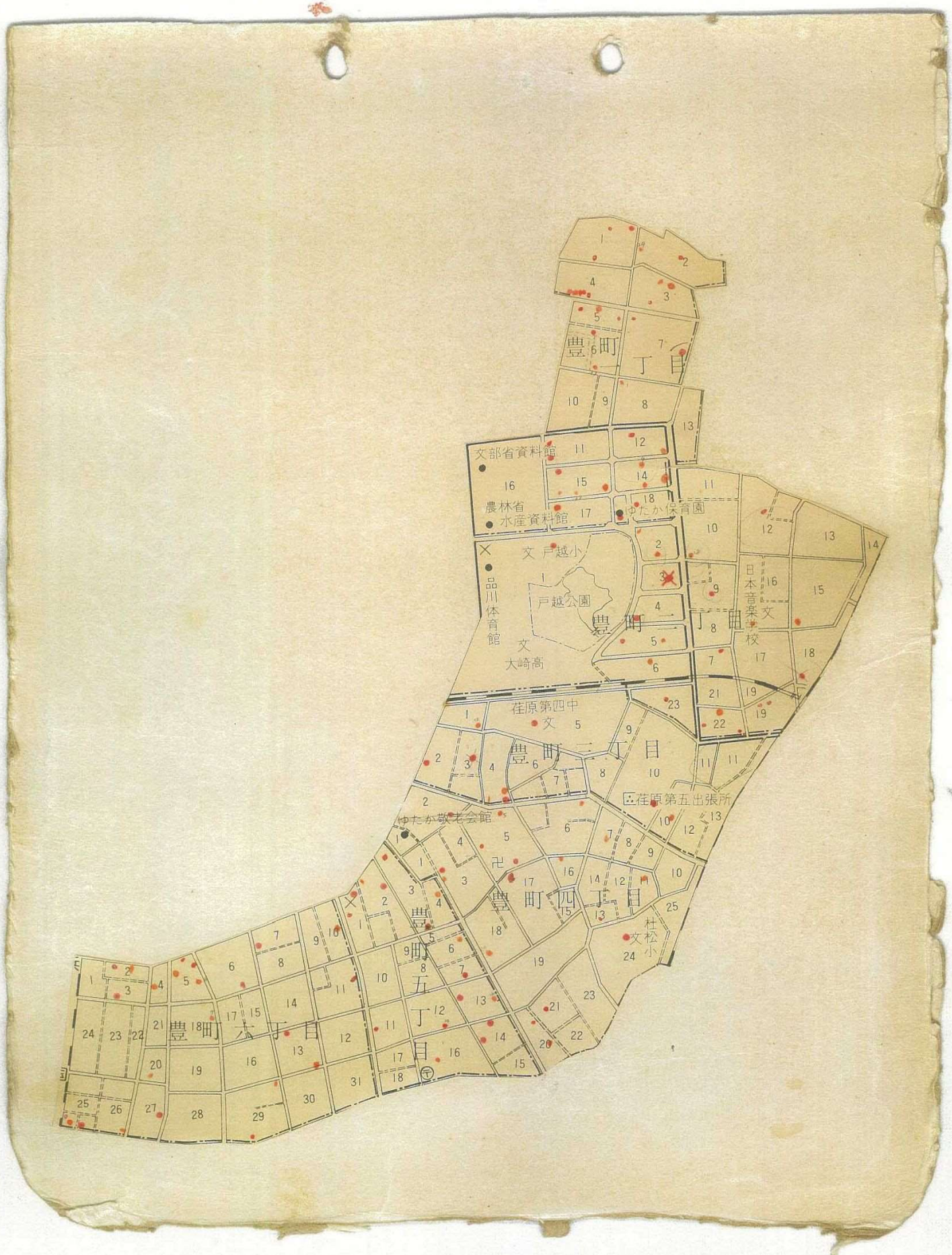
### 1. 連絡先

(企業名) 東京ガス株式会社

(部署名) 地域共創カンパニー カーボンニュートラルシティ共創部 官公庁第2チーム

(TEL) 070-4464-8546

(内線) 701-47654



Y 3

土質柱状図

No. 2  
 (東京大学工学部) 地盤調査  
 期日 昭和 32. 4. 22. ~ 7. 25.  
 品川区豊町 3-5-31 担当者

深 度 (m)	層 厚 (m)	地 質			孔 内 水 位 (m)	テ ス ト サ ン プ ル	標準貫入試験												
		記 号	色	土質型			記 事	貫 入 深 度 (m)	N 値	10cm毎ノ 打撃回数			N 値						
										10 cm	20 cm	30 cm							
0.00	1.49		暗 褐 盛 土 (0-6)	礫 砂 子 并 鉄屑等交る。			1.7	20	24										
1.49	2.12		褐 土 0-6	有機物交る。			2.7	12	16	11									
3.61	0.46		灰 褐 粘 土	有機物交る。汚土等			3.06	2	15	6									
4.07	0.75		黄 褐 粘 土	有機物 炭化物交る。			3.96	0.9		1									
4.82	1.91		褐 灰 粘 土	有機物交る。			4.02	1.8	21	11									
6.73	0.79		黄 褐 粘 土	有機物交る。			4.35	1.8	14	14									
7.52	1.17		褐 灰 粘 土	有機物交る。			5.00	1		21									
8.71	0.65		暗 褐色 粘 土	有機物 炭化物交る。			6.00	0.9		15									
9.36	0.39		暗 褐色 粘 土	有機物 炭化物交る。			7.33	2.8	14	8	10								
9.75	0.70		暗 褐色 中 砂	礫 之 粘 土 交る。			7.00	26	5	7	14								
10.45	>2.76		暗 褐色 砂 礫	礫 最大径 45 mm 最小径 最大径 75 mm 少量の粘土交る。			8.00	56	17	18	21								
13.21							9.36	50	15	9	5								
							10.00	70	15	9	5								
							11.00	50	16	28	27	6							
							11.30	13.21											

豊町 3-5-31

第一開発株式会社

豊町 3-5-31  
 調査中

21010

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 東京都地盤DB

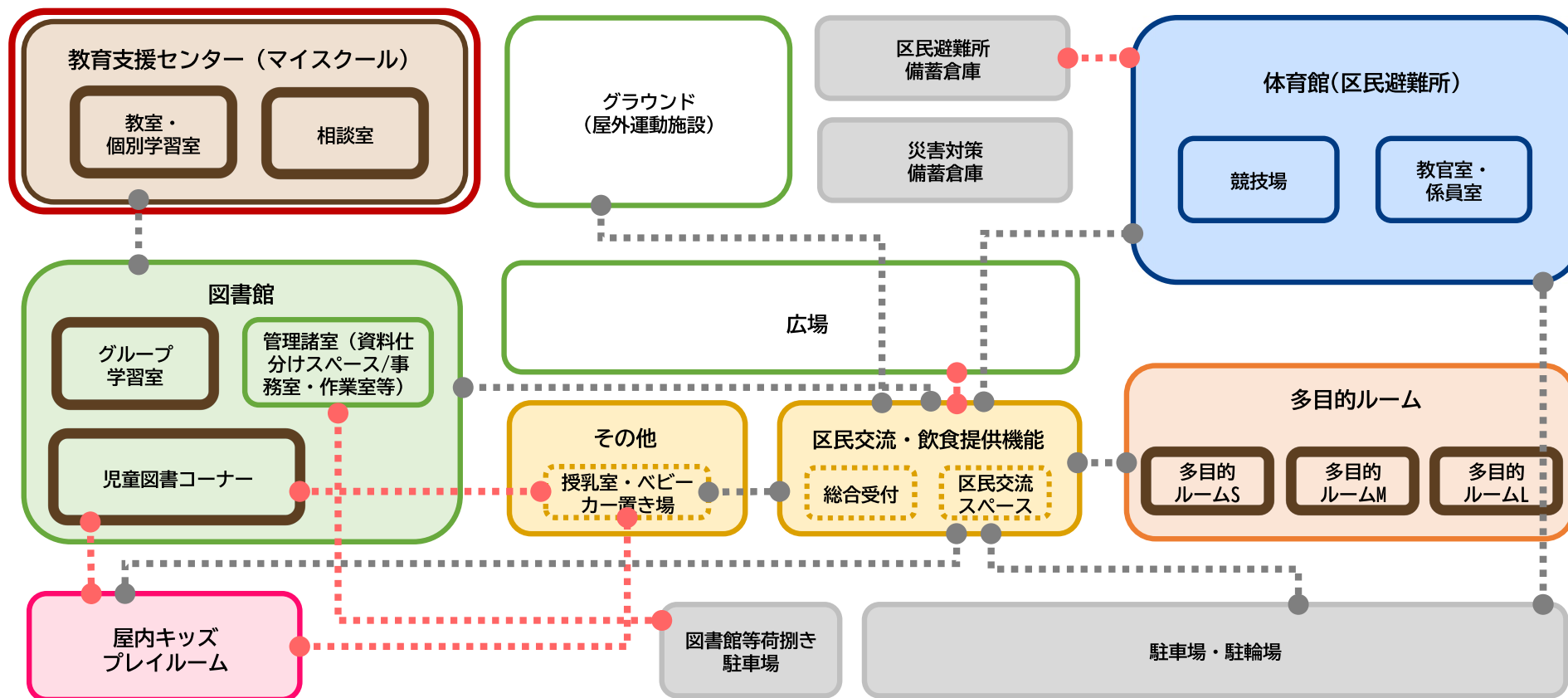
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	74587	調査位置					北緯	35° 36' 32.45"	
発注機関					調査期間	1964年 4月 1日 ~ 1964年 4月 1日	東経	139° 43' 16.33"	
調査業者名	電話	主任技師	地質調査技師 登録番号	現場代理人	地質調査技師 登録番号	コア鑑定者	地質調査技師 登録番号	ボーリング責任者	地質調査技師 登録番号
孔口標高	T.P. 20.62m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	エンジン
総削孔長	13.21m	度						ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深試験番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日				
												深度-N値図										深 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
1	19.13	1.49	砂礫混じりローム	砂礫混じりローム		暗茶褐					04/01 3.49	1.00			2	300									
2				関東ローム		茶褐						1.30			3	300									
3												2.30			4	300									
4	17.01	3.61		粘土		灰茶褐						3.03			1	300									
	16.55	4.07		粘土		黄茶褐						4.03			2	300									
	15.80	4.82		粘土		茶褐						5.00			2	300									
6				粘土		茶褐						6.00			2	300									
	13.89	6.73		粘土		黄茶褐						7.00			1	300									
	13.10	7.52		粘土		茶褐						7.30			1	300									
	11.91	8.71		粘土		茶褐						8.00			1	300									
	11.26	9.36		粘土		暗茶褐						8.30			3	300									
	10.87	9.75		粘土		暗緑灰						9.00			3	300									
	10.17	10.15		中砂		暗青灰						10.00			26	300									
												10.30													
												11.00			50	300									
												11.30			50	300									
												12.00			50	300									
												12.30			50	300									
13	7.41	13.21		礫		暗青灰						13.05			50	300									

# 別紙9 機能関連イメージ図



※各機能の諸室は代表的なもののみ記載  
 ※記載がない箇所の配置・動線については、事業者の提案に委ねる

- 近接 (利用者が、接続する2つの機能・諸室を一体的に利用しやすい近さに設ける)
- 動線 (利用者が、接続する2つの機能・諸室間を行き来できる動線を設ける)
- 防音性
- セキュリティ

## 「諸元表の共通事項」

## 【共通事項】

1) 施設計画を行う上で、特に明記が必要と思われる仕様・設備・機能等の要求水準は要求水準書(設計・建設)及び本書にて述べるが、施設用途等により一般的に必要な仕様・設備・機能等について全て網羅していないため、これらの施設・設備・機能等については、本書に記載していなくても計画には盛り込むこととする。

## 【階指定】

- 1) 数値記載がある場合は記載の階へ配置する。
- 2) 各欄の「-」記載は提案または適宜とする。

## 【面積】

- 1) 「程度」記載の部屋については記載面積が±3%以内、または±1m<sup>2</sup>のうちいずれか大きいほうの面積の範囲内とする。かつ、その他欄に記載の什器・備品の配置が可能で内部通路スペースの確保など運用に支障のない面積とする。
- 2) 「以上」記載の部屋については記載以上の面積とする。
- 3) 「約」記載の部屋については記載面積の±10%の面積とする。
- 4) 「-」記載の部屋については設計水準・その他欄に記載の機器・什器・備品の配置が可能で内部通路スペースの確保など運用に支障のない面積とする。

## 【特記事項】

【動線・配置計画に関する留意事項】 動線や配置に関して特に指定がある場合の記載。

【室の使い方・用途・機能・設備等に関する留意事項】 使い方・用途・機能・設備等に関して特に指定がある場合の記載。

## 【防音】

- 1) 遮音等級(D 値)は間仕切り壁の遮音等級指定がある場合の記載。  
建具については遮音性能数値指定はしないが室用途等に配慮した仕様等とすること。

## 【建築】

- 1) 仕上げに関して特に指定がある場合の記載。各種下地・仕上げ凡例（記載の同等以上とする）
  - ・床下地 C：コンクリートコテ押えの上レベリング、OA：OA フロアーH=100 程度
  - ・床仕上げ TC：タイルカーペット（ナイロン）、VS：長尺塩ビシート、VT：ビニルタイル、F：フローリング
  - ・壁仕上げ EP：エマルジョンペイント、CC：布クロス
  - ・天井仕上げ DR：岩綿吸音板、GB-D：化粧石膏ボード
- 2) 仕上げに関して指定がない場合は下記仕様同等以上とする。（変更する場合は要協議）
  - ・床仕上げ：長尺塩ビシート
  - ・壁仕上げ：エマルジョンペイント
  - ・天井仕上げ：岩綿吸音板（倉庫等、職員のみ利用する室（居室以外）：化粧石膏ボード）

## (電気設備)

1) LAN の「有線」は図書館専用、または職員専用システム以外のシステムを示す。

2) 非常呼出設備の「釦」は呼出釦設置、「盤」は呼出表示盤設置。

呼出表示盤は呼出釦設置室が所属する部署の執務室に設置し、管理・警備室には建物内全ての非常呼出しに対応した呼出表示盤を設置する。

3) トイレ呼出設備の「釦」は呼出釦設置、「盤」は呼出表示盤設置。

呼出設備の呼出表示盤は、常時職員の居る事務室や警備員室に配置すること。











■ 必要諸室および仕様(案) 保安負荷供給先

No	機能	区分	諸室名	保安負荷範囲 (稼働率:%)			備考
				照明	コンセント	空調	
1	体育館	体育館	競技場	○ (1/3程度)	2か所 (充電用)	○ (停電対応型GHPを含む空調方式)	
2	体育館	トイレ・更衣室	トイレ・更衣室	○ (1/3程度)	○ (小便器・大便器電源)		
3	教育支援センター (マイスクール)	教室・多目的室	教室・個別学習室・レクリエーションルーム等	○ (1/3程度)			居室の設えになっている部屋を対象とする。
4	多目的ルーム	多目的ルーム	多目的ルーム L、M、S	○ (1/3程度)			居室の設えになっている部屋を対象とする。
5	共用部(廊下・階段等)	共用部(廊下・階段等)	共用部(廊下・階段等)	○ (1/3程度)			避難場所に移動する動線を対象とする。 全階を対象に設置する。
6	管理室	管理室	管理室	○ (1/3程度)	2か所 (TV、電話等)		
7	災害備蓄倉庫	災害備蓄倉庫	災害備蓄倉庫	○ (1/3程度)	1か所 (充電等)		
8	トイレ	トイレ	トイレ	○ (1/3程度)	○ (小便器・大便器電源)		
				※記載箇所以外の保安負荷供給も可とし、PFI事業者の提案に委ねる。			